



## 平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東  
 コード番号 3674 URL http://aucfan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武永 修一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼経営管理部長 (氏名) 帖佐 勇志 TEL 03(6809)0951  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	973	5.8	△20	—	△16	—	△56	—
29年9月期第1四半期	919	74.6	80	△23.7	161	32.2	67	△57.1

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 △68百万円 (—%) 29年9月期第1四半期 82百万円 (△38.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	△5.69	—
29年9月期第1四半期	6.83	6.46

(注1) 当第1四半期において子会社化した株式会社ネットプライスの業績については、平成30年1月以降分から連結業績に反映されるため、上記金額には含まれておりません。

(注2) 平成30年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	4,706	2,437	51.2
29年9月期	4,216	2,506	58.6

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 2,410百万円 29年9月期 2,471百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	64.1	450	119.2	450	48.6	270	23.3	27.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 株式会社ネットプライス、 除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年9月期1Q	9,907,500株	29年9月期	9,907,500株
30年9月期1Q	53,200株	29年9月期	53,200株
30年9月期1Q	9,854,300株	29年9月期1Q	9,841,800株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「あらゆる人が、あらゆる場所で、あらゆるモノを売り買いできる新たな時代を創る」というミッションを掲げ、「グローバルな循環型消費社会の先駆者であり続ける」というビジョンのもとに、ネットオークション・ショッピングの比較検索サイト「オークファン」をはじめとした情報提供(インターネットメディア)事業、卸企業様・メーカー様等を対象としたマーケットプレイス運営事業及び、インターネット上での販売活動支援等を行うソリューション事業を展開しております。

当社グループは、消費者に届けられることなく廃棄される約22兆円の法人在庫(※)に着目し、創業来蓄積した大量の商品実売データを基に、これらの在庫を「適切な価格で」「適切なマーケットに」お届けする支援を行って参りました。特に、2017年12月からはお買い得品EC事業の株式会社ネットプライスを子会社化し、相場データのみならず、自ら積極的に流通に関与するマーケットプレイス事業への本格展開も果たしました。(なお、株式会社ネットプライスについては、当第1四半期は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書も連結いたします。)

本年度は、22兆円の巨大市場の攻略に向け、事業の選択と集中を実施しながら事業推進を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は973,048千円(前年同四半期比5.8%増)、営業損失は20,497千円(前年同四半期は営業利益80,012千円)、経常損失は16,017千円(前年同四半期は経常利益161,239千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は56,100千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益67,196千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### ①メディア事業

当セグメントは、創業来のデータの収集・解析基盤及び、これらのデータを活用したインターネットメディア(aucfan.com)の運営を主とした当社グループの基盤となるセグメントであります。将来的な有料会員化を見据えたサイト(aucfan.com)のユーザ行動改善及びそれに伴う広告枠の制限、オークション教育・個別サポートサービス「オークファンスクール」などの周辺サービスの商品開発、データ基盤の開発原価拡大などにより、売上高469,312千円、営業利益16,266千円となりました。

#### ②マーケットプレイス事業

当セグメントは、22兆円の巨大市場への足がかりとして最も重要なセグメントであると位置づけております。法人向け商品流動化支援事業「リバリュー」及び国内最大級のBtoB仕入れサイト「NETSEA」の積極的な事業拡大を優先し、新規の取引先拡大等に注力した結果、売上高394,765千円、営業利益17,982千円となりました。なお、株式会社ネットプライスはマーケットプレイス事業に区分しておりますが、当第1四半期は貸借対照表のみを連結しているため、同社の業績は第2四半期以降寄与してまいります。

#### ③ソリューション事業

当セグメントは、データとマーケットプレイス(販路)を繋ぐ戦略的投資事業を含む、当社グループにとって重要なセグメントであります。前期に引き続き、複数のEマーケットプレイスへの同時出品・在庫連動等が可能なASPサービス『タテンポガイドNEXT』の営業・開発体制の迅速な立て直しを実施して参りました。一方、一部の大口取引において、債権の回収が困難となるなど、一時的な費用が発生した結果、売上高85,298千円、営業損失83,086千円となりました。

#### ④インキュベーション事業

当セグメントは、事業投資活動を通じて、当社が中長期に亘り競合優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。当第1四半期においては、保有しております上場会社株式の売却及び、投資先企業へのコンサルティング等を実施した結果、売上高49,879千円、営業利益24,846千円となりました。

※ 出所：平成27年度法人企業統計(財務省)などを基に当社試算

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間において株式会社ネットプライスの貸借対照表を連結したことに伴い、資産・負債が増加しております。

①資産の部

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、4,706,154千円(前連結会計年度末は4,216,731千円)となりました。

流動資産は、2,949,480千円(前連結会計年度末は2,476,630千円)となりました。主な内訳といたしましては、現金及び預金が1,177,952千円、受取手形及び売掛金が611,363千円であります。

固定資産は、1,753,569千円(前連結会計年度末は1,736,686千円)となりました。主な内訳といたしましては、のれんが722,973千円、ソフトウェアが365,319千円であります。

繰延資産は、3,104千円(前連結会計年度末は3,415千円)となりました。内訳といたしましては、社債発行費が3,104千円であります。

②負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、2,268,160千円(前連結会計年度末は1,710,720千円)となりました。

流動負債は、1,525,597千円(前連結会計年度末1,132,652千円)となりました。主な内訳といたしましては、買掛金315,091千円、1年内返済予定の長期借入金330,303千円、であります。

固定負債は、742,562千円(前連結会計年度末は578,068千円)となりました。主な内訳といたしましては、社債187,500千円、長期借入金548,104千円であります。

③純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,437,994千円(前連結会計年度末は2,506,011千円)となりました。主な内訳といたしましては、資本金が678,414千円、資本剰余金が649,184千円、利益剰余金が1,120,706千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の第1四半期連結累計期間は、ソリューションセグメントにおける一時的な費用発生により、当初計画からは一部乖離した推移となりました。一方で、当期は事業の選択と集中を進めており、各セグメントにおける収益基盤の強化・多様化は順調に進捗しております。したがって、当社の連結業績予想については、平成29年11月13日に公表した業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,028,960	1,177,952
受取手形及び売掛金	356,107	611,363
営業投資有価証券	493,933	527,860
商品	195,361	287,078
貯蔵品	73	806
繰延税金資産	107,437	105,850
未収入金	260,741	198,282
その他	82,054	84,651
貸倒引当金	△48,039	△44,364
流動資産合計	2,476,630	2,949,480
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	70,756	74,897
工具、器具及び備品（純額）	64,490	62,286
その他（純額）	578	4,836
有形固定資産合計	135,825	142,019
無形固定資産		
のれん	733,241	722,973
ソフトウェア	363,183	365,319
その他	56,231	77,498
無形固定資産合計	1,152,656	1,165,791
投資その他の資産		
繰延税金資産	199,593	171,774
その他	248,610	273,983
投資その他の資産	448,204	445,758
固定資産合計	1,736,686	1,753,569
繰延資産		
社債発行費	3,415	3,104
繰延資産合計	3,415	3,104
資産合計	4,216,731	4,706,154

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	127,579	315,091
短期借入金	100,000	200,000
1年内償還予定の社債	125,000	125,000
1年内返済予定の長期借入金	295,215	330,303
未払法人税等	60,148	17,585
未払金	240,957	288,140
ポイント引当金	1,307	4,490
その他	182,443	244,986
流動負債合計	1,132,652	1,525,597
固定負債		
社債	250,000	187,500
長期借入金	328,068	548,104
その他	—	6,958
固定負債合計	578,068	742,562
負債合計	1,710,720	2,268,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	678,414	678,414
資本剰余金	649,184	649,184
利益剰余金	1,176,807	1,120,706
自己株式	△43,251	△43,251
株主資本合計	2,461,154	2,405,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,466	5,074
その他の包括利益累計額合計	10,466	5,074
新株予約権	21,346	21,346
非支配株主持分	13,044	6,519
純資産合計	2,506,011	2,437,994
負債純資産合計	4,216,731	4,706,154

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年10月1日 至平成28年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年10月1日 至平成29年12月31日）
売上高	919,686	973,048
売上原価	414,902	488,734
売上総利益	504,783	484,314
販売費及び一般管理費	424,771	504,812
営業利益又は営業損失（△）	80,012	△20,497
営業外収益		
受取利息	227	221
為替差益	7,376	70
投資有価証券売却益	72,919	—
その他	3,878	7,860
営業外収益合計	84,401	8,152
営業外費用		
支払利息	2,841	1,617
社債発行費償却	310	310
その他	22	1,744
営業外費用合計	3,174	3,672
経常利益又は経常損失（△）	161,239	△16,017
特別損失		
固定資産除却損	—	1,788
過年度決算訂正関連費用	40,593	—
特別損失合計	40,593	1,788
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	120,645	△17,806
法人税、住民税及び事業税	14,507	13,514
法人税等調整額	38,941	31,305
法人税等合計	53,449	44,819
四半期純利益又は四半期純損失（△）	67,196	△62,625
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	67,196	△56,100
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	—	△6,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,182	△5,391
その他の包括利益合計	15,182	△5,391
四半期包括利益	82,378	△68,017
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,378	△61,492
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△6,524



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社ネットプライスの株式を全取得し同社を子会社としたため、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成29年12月31日としているため、当第1四半期会計期間では貸借対照表のみを連結しており、当第1四半期連結損益計算書については同社の業績を含んでおりません。

また、株式会社ネットプライスは当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。